

福島県中小企業家同友会

DOYU FUKUSHIMA

vol.549

12

2025

いま、この人 (田村支部)

堀井 有馬さん

(株)タムラ

特集

第49回

全県企業家フォーラム

活動報告・専門委員会だより

いま思うこと



福島県中小企業家同友会 **2025年度スローガン**

**21世紀型中小企業づくりを進め
真の人間尊重の社会をめざそう**

同友会運動の新しいステージに向けて、
人を生かす経営の実践から確立へ

Check 各支部の活動の様子は
こちらをご覧ください

支部
ニ
ュ
ー
ス

郡山支部 / 10月視察研修・政策提言委員会
福島支部 / 11月経営労働セミナー
あたら支部 / 10月例会
須賀川支部 / 10月例会
会津支部 / 10月青年委員会
相双支部 / 10月例会
白河支部 / 11月例会
いわき支部 / 10月例会
田村支部 / 10月例会
喜多方支部 / 10月例会
南会津支部 / 10月例会



www.fdoyu.or.jp



想いを継ぎ、 未来へつなぐ



の想いに応えたいと思って入社したそうです。

奥さんとは高校2年生の時に同じクラスで、出席番号もすぐ後ろだったことがきっかけで知り合い、そこからお付き合いを始めて大学卒業の2年後に結婚したそうですから、堀井さんの姿を社長はずっと見ていたということになりました。

堀井さんは入社して現在6年目で、仕事は配車業務や運行管理を担当しています。それまでとは全く違う業界に来たので、専門用語もわからず、最初の1〜2年はわからないことだらけで、あっという間に月日が過ぎていったそうです。入社5年目に2024年問題が起き、そのあたりで今まで勉強してきたことがようやく形になって、いろいろな指示ができるようになってきたと感じていると話していました。

異業種交流から学びを得て、 経営の未来を描く

田村支部長の(株)アイエスシー

の伊藤社長から、同じトラック協会の会合の際に、勉強する良い団体があるから入ってみたらどうか、と誘われたのが同友会入会のきっかけだそうです。自分自身の知識やアイデアだけでは限りがあるので、本当に会社を良くしていこうという思いがあるのであれば、同友会はいろいろな勉強ができる時間を設けていて、異業種の方とも触れあえたり、いろいろな意見がもらえたりするのでおすすめですと言われ、入会を決意されました。

堀井さんは同友会に入会して2年目です。「いろいろな業種の諸先輩方から、日頃気づけない点や発想を、会うたびに教えてもらえるので、本当に勉強になり、入会して良かったと思っています。弊社では現状、経営理念はありますが、時代とともに変えていく必要があると思います。その中で今まで創業当初から大切にしているものは継承しながら、自分なりの今後の会社というものを持ちたいと思い、経営指針も次第に勉強していき

堀井有馬さん

創業72年
地域に根ざす運送の老舗

田村市船引町に本社を置く(株)タムラさんは、昭和28(1953)年に創業し、今年で創業72年を迎え、周囲の皆様からも老舗の運送屋さんと慕われています。さまざまな荷物を取り扱っていますが、メインの荷物は石灰石だそうです。

輸送形態としては主に大型トラック、トレーラーでの運送で、お客様のニーズに応えられるように車の種類も数多く揃えています。主な配送先は東北地方から関東一円までがメインになっていて、近くに石灰石が採れる鉱山があるので、そこから積み込み、関東方面に輸送しているとのことでした。

現在の社長は堀井さんの奥さ

たいと思っています」と語る堀井さん。経営指針を創ってより良い会社に成長していくことを期待しています。

エコドライブ目標の設定や燃費改善など、温室効果ガス削減への継続的な取り組みが高く評価され、「ふくしまゼロカーボンアワード2025」運輸部門で優秀賞を受賞。ドライバー一人ひとりが燃費計算と管理を行い、パーキングクーラーやヒーターの導入、燃料・吸気システムを自社でクリーニングできる機器の導入により、車両の性能維持と燃費向上を実現。運用コスト削減にもつながっている。



田村支部

「見られていた努力」が導いた新たな道

堀井さんは大学卒業後に金融機関に入社し、そこで5年間金融業務をやっていましたが、金融機関もかなり厳しい状況でした。堀井さんがもがいている姿を本田社長は見ている、「今後の会社を続けていく上で会社を手伝ってほしいか」という一声をいただき、悩みながらも社長

(株)タムラ

事業内容：一般貨物自動車運送業
住所：田村市船引町船引字鏡ヶ池 53番地12
TEL：0247-82-0725
FAX：0247-82-3508
資本金：4000万円
社員数：34名



レポート／(株)インフクフタバ 望月隆司 (田村支部)



いまこの人は
動画でも配信中!

今すぐCHECK!



全県企業家フォーラム

未来へつなく 経営者の挑戦
～減少社会のその先へ～



県内外より319名のご参加をいただきました。

第1分科会【経営指針】

「経営指針の総合実践」

～“弱い”会社から
“地域に必要とされる”会社へ～

報告者 佐藤 周司氏 (宮城同友会)
仙周工業(株) 代表取締役



仙周工業(株)は宮城県白石市に会社を置き、解体工事からリサイクル・リユースまで一貫した事業の展開をしている企業です。しかし、これまでの道のりは紆余曲折でした。数々の困難や失敗を乗り越え、2013年に同友会で経営指針を成文化してからは企業経営に活路を見出し、事業計画に沿って実直に実行してきた新しい仕事づくりや、採用強化にも挑戦し続ける佐藤氏の実践から学ぶことができた分科会でした。

第3分科会【社員共育】

「社員が未来を創り、地域が輝く」

～自己改革から始まる「共に育つ」組織づくり～

報告者 庄司 薫氏 (山形同友会)
(株)菓子工房 COCO イズミヤ 代表取締役



山形県高島町で創業103年を迎えるお菓子屋を経営する庄司さん。同友会へ入会し経営指針を創ったものの、社員は辞め、利益が出ず、負のスパイラルに陥りました。そんな中、社員共育委員会へ飛び込み、委員会での学びを通し「どんな会社をつくりたいのか」「社員を本気で幸せにしたいのか」と自分自身を問い直しました。その“自己改革”こそが、「共に育つ」組織づくりの始まりでした。社員が幸せに育つことで会社が輝き、その姿が地域にも広がる。働く喜びを分かち合い、地域との連携を通して、社員と共に未来を創り続ける歩みを報告いただきました。

第5分科会【見学分科会】

「廃棄物処理の枠を超えた 価値創造へ、地域密着型 企業が切り開く未来の役割」

●「汚泥から未来を創る挑戦の軌跡」
～真のゼロエミッション実現と地域共生への貢献～

報告者 渡辺 啓治さん (いわき支部)
渡辺エコサービス(株) 代表取締役



第5分科会では、いわき市の環境関連企業2社を見学。渡辺エコサービスでゼロエミッション技術を、高崎クリーンでSDGsに基づく持続可能経営を学び、地域共生の重要性を実感しました。

●「歩み出した変革の入口はSDGsから」
～未来へ繋ぐ環境創造企業の道標～

報告者 高崎 文孝さん (いわき支部)
(株)高崎クリーン 代表取締役

第2分科会【事業承継(M&A)】

「未来へつなく “新しい承継”のカたち」

～減少社会の事業承継と
経営者の挑戦～

報告者 水沼 啓幸氏 (会外)
(株)サクシード 代表取締役



M&Aの売り手としてではなく、買い手としての「在り方」について第2分科会では水沼啓幸氏に講演いただきました。「地域循環型・地域自立型」の事業承継の実現するため、実際に買い手・売り手となる企業以外の「同じ地域」の金融機関・会計士事務所など多方面で連携をしていく必要があると伝えました。単なる企業の売買ではなく、その地域になくてはならない企業(インフラ)を地域に残す方法としてM&Aについて考えさせられました。

第4分科会【自治体の取り組み事例】

「中小企業の採用の糸口は、UIJターンにあり」

～新たな人材を取り込む戦略～

第一部 ●福島県の取り組み紹介
「福島県の人口減少の現状と取組について」
第二部 ●パネルディスカッション
「UIJターン促進に向けた地域の取組み」



第一部では、若年層の転出が多く、特に女性の転出超過が男性の1.2倍である現状を踏まえ、「ふくしま創生・人口戦略官民連携・共創チーム」の取り組みが報告されました。性別で職種や採用を限定するアンコンシャスバイアスをなくすことが、雇用創出の鍵であるとも話されていました。移住の相談件数が全国2位の福島県における、福島市といわき市でのUIJターン促進のための多様な施策の紹介が第二部ではありました。移住者からは奨学金返済支援やアクセスの良さが評価される一方、交流の場の不足、支援制度の周知不足が課題とされ、情報通信網の充実が重要とまとめられました。

第6分科会【見学分科会】

「スポーツを通じたひとづくりと まちづくり (Part2)」

～クラブ結成から10周年を迎えて
見えてきた課題とこれからの展望～

報告者 大倉 智さん (いわき支部)
(株)いわきスポーツクラブ 代表取締役



いわきFC新スタジアム建設予定地といわきFCパークを見学し、大倉智さんにご報告いただきました。「スポーツを通じて社会価値を創造する」使命のもと、地域と連携し、地域社会のためにさまざまな活動を行ってきたからこそ、いわきFCはこんなにも愛されているのだなと感じられました。クラブ創設10周年を迎えた今、創設当初の想いをさらに強く掲げ、これからも地域と共に歩いていくと大倉さんは力強く語られました。地域と共に歩み、地域課題に向き合い続ける姿勢を学ぶことができた分科会となりました。

このたびは「第49回全県企業家フォーラム」へご参加いただき、誠にありがとうございます。多くの皆様にご参集いただき、盛会のうちに開催できましたことを、心より御礼申し上げます。今回のフォーラムでは、実行委員一同が皆様の学びと交流の時間を思い描きながら、おもてなしの心で長きにわたり準備してまいりました。当日の皆様の真剣な眼差し、交流会でのいきいきとした笑顔は、私たちに大きな励みとなりました。本フォーラムでの気づきや学びが、皆様の今後の経営実践の一助となれば幸いです。皆様のさらなるご発展を祈念し、あらためて感謝申し上げます。



御礼
実行委員長 遠藤貴司さん

三神氏は、今後7年間で日本社会の転換点であり、人口減少・高齢化・人手不足といった構造的課題が一気に進む中で、従来型の拡大志向ではなく「質で成長する経営」への転換が必要だと指摘しました。
外国人材の受け入れ多様化や高齢者雇用の義務化など、多様な人材を活かす仕組みを整え、地域の人的資産密度を高めることが鍵となります。また、



齋藤記子会長

な地域経済モデルづくりに挑戦していきます。
共有し、会員企業が地域の知恵と技術、人のつながりを再構成する実践を通じて、福島の新たな地域経済モデルづくりに挑戦していきます。



分科会報告会で全6分科会の内容を共有しました



正木好男いわき商工会議所会頭の首頭で乾杯



渡部一次年度実行委員長からのPR。第50回全県企業家フォーラムは「会津エリア」で開催。



三神万里子氏

記念講演では、ジャーナリストの三神万里子氏を講師に迎え、「人口減少下のビジネスモデル」をテーマに学びました。
「縮小しながらも成長できる社会へ。地域の『質』を磨くことが未来の競争力となる」とのメッセージが印象的でした。

同友会としても、この視点を共有し、会員企業が地域の知恵と技術、人のつながりを再構成する実践を通じて、福島の新たな地域経済モデルづくりに挑戦していきます。

開会セレモニーでは、齋藤記子会長、遠藤貴司実行委員長が挨拶し、続いてジャーナリスト・三神万里子氏による記念講演が行われました。その後、「経営

指針」「事業承継」「社員共育」「自治体の取り組み事例」「企業見学」のテーマごとに6つの分科会に分かれ、活発な学びと交流が行われました。

「記念講演」
人口減少下の
ビジネスモデル
中小企業経営と地域経済活性化

スタートアップ支援一辺倒ではなく、中小企業同士、あるいは中小と大企業・ベンチャーの実践的連携こそが新しい価値を生むと強調しました。
さらに、地域産業試験場や金融機関、技術データベースを結ぶ「面的システム」づくりが、人口減少社会における持続的な経済の基盤になると提起。

「縮小しながらも成長できる社会へ。地域の『質』を磨くことが未来の競争力となる」とのメッセージが印象的でした。
同友会としても、この視点を共有し、会員企業が地域の知恵と技術、人のつながりを再構成する実践を通じて、福島の新たな地域経済モデルづくりに挑戦していきます。

分科会後は全体会で各分科会の報告と全体記念撮影を実施。報告と全体記念撮影を実施。続く懇親会では、内田広之いわき市長、根本和代いわき地方振興局長からご祝辞をいただき、正木好男いわき商工会議所会頭の乾杯で和やかに開宴しました。終盤には、次年度フォーラム開催地である会津エリアの皆さんが元氣なPRを行い、渡辺啓治代表理事の中締めで閉会。参加者は来年の再会を誓い合い、有意義な一日となりました。

大会概要

いわき市では8年ぶりとなる「第49回全県企業家フォーラム2025 浜エリア/いわき」が、11月14日にパレスいわきで開催されました。「未来へつなく経営者の挑戦」減少社会のその先へ」を大会テーマに、少子高齢化・人口減少・地域の過疎化といった「縮む社会」にどう向き合うか、新しい時代にふさわしいビジネスモデルを共に考える機会となり、県内外より319名が参加しました。

分科会後は全体会で各分科会の報告と全体記念撮影を実施。報告と全体記念撮影を実施。続く懇親会では、内田広之いわき市長、根本和代いわき地方振興局長からご祝辞をいただき、正木好男いわき商工会議所会頭の乾杯で和やかに開宴しました。終盤には、次年度フォーラム開催地である会津エリアの皆さんが元氣なPRを行い、渡辺啓治代表理事の中締めで閉会。参加者は来年の再会を誓い合い、有意義な一日となりました。

第32回報道各社との懇談会を開催

2025年11月4日(火)、福島市のウエディング・エルティにて「第32回報道各社との懇談会」を開催しました。本懇談会は、地元中小企業の現状や同友会運動の取り組みを報道関係の方々に理解していただくために毎年行っているもので、今年度は報道関係者より9名の皆さまにご参加いただきました。今回は、多くの企業で課題となっている「人手不足」に焦点を当て、「共育と採用」をテーマに問題提起を行いました。



採用と共育について問題提起をする渋谷裕司さん



報道各社と同友会会員によるグループ討論

問題提起者は、県社員共育委員長であり、渋谷レックス(株)代表取締役社長の渋谷裕司さん(福島支部)です。「中小企業における採用と共育の実践」と題し、具体的な取り組みを紹介いただきました。渋谷レックス(株)では、評価制度、成長支援、行動指針の作成など組織の仕組みづくりとなるソフト面、社員とその行動指針を軸に共に作り上げた社屋といったハード面の両方での取り組みを通じ、社員が会社を自分事として考えられるようになり、共育を基本とする積み重ねが採用活動の強化に繋がりは始めているとの実践報告が語られました。

情報管理セミナー

「人手不足」をチャンスに変える「デジタルツール(生成AI・RPA)活用セミナー」

講師：濱田幸徳氏 アクセンチュア(株) テクノロジーコンサルティング本部

10月15日(水)、郡山市民交流プラザにて、アクセンチュア(株)テクノロジーコンサルティング本部 濱田幸徳氏を講師に迎え、「人手不足」をチャンスに変える「デジタルツール(生成AI・RPA)活用セミナー」が開催されました。近年、生成AIやRPAなどのDX技術が急速に進展し、働き方やビジネス環境が大きく変化する中、中小企業が直面する深刻な人手不足に対し、どのように技術を活用して乗り越えていくかを学びました。

講義では、国内外のDX動向について触れ、特に生成AIがもたらす業務効率化のインパクトを例示いただきました。これまで人が時間をかけていた業務の多くが自動化・省力化できるようになりつつあると説明を受け、また、RPAによる定型業務の自動処理は、単なる効率化ではなく、ミス削減や属人化の解消にも効果があるとお話しいただきました。

中小企業でも取り入れられる具体的な活用事例では、受発注管理の自動化、経理業務の効率化、顧客情報の整理・分析など、



AI活用について講演する濱田幸徳氏

参加者からは、「自社においては紙ベースが基本となっているので、これからDX化に取り組む必要性を強く感じた」「試しに生成AIを利用してみたいが意外と活用できそうだったのでこれを機にAI助手として活用していきたい」といった感想がありました。自社で取り組むべきDXの第一歩が明確になる実践的な内容のセミナーとなりました。

常任理事会報告

(11月4日ウエディングエルティ)

■審議事項

- 議題1. 県中県南エリア経営労働例会収支の審議
- 1. 樋口静克経営労働委員長より、県中県南エリア経営労働例会収支の提案があり、審議の結果、承認した。
- 議題2. 情報管理委員会、公開セミナー収支の審議
- 1. 鈴木隆将情報管理委員長より、情報管理委員会公開セミナー収支の提案があり、審議の結果、承認した。
- 議題3 環境委員会公開セミナー(10月22日)結果とまとめ、同友会エントリイ依頼
- 1. 高崎文孝副代表理事より、環境委員会公開セミナー(10月22日)結果とまとめの提案があり、審議の結果、承認した。
- 1. 高崎文孝副代表理事より、同友会エントリイ依頼があった。
- 議題4. 外部団体からの依頼
- 1. 佐藤智明常務理事事務局長より、福島大学の研究2025名義後援依頼の提案があり、審議の結果、承認した。
- 議題5. 次回常任理事会
- 1月6日13:30

さまざまな人に支えられてこそここまで来た
—仕事も遊びも全力で—



㈱リーパーテック 代表取締役 五十嵐弘伸さん (南会津支部)

これまでの歩みを振り返ると、本当に多くの人に支えられてきたと実感します。家族、社員、仲間、取引先、そして地域の方々——誰一人欠けても、今の

ちようど一年前、社会人になってからずっと続けてきたソフトボールの試合中に、前十字靭帯を断裂する大きなケガをしました。全身麻酔での靭帯再建術が必要となり、医師からは「し

支えられて気づいた
「当たり前」の尊さ



㈱クリエイト 営業二課課長 今井将也さん (郡山支部)

ばらく運転は禁止」と告げられ、約1か月間、思うように動けない日々が続きました。仕事に行くことさえ難しく、会社の皆さんやお客様にも大きなご迷惑をおかけしてしまいました。生活のあらゆる場面で不便が生じ、今まで「自分一人で普通」にできていたことが、実はどれほど周囲の支えの上に成り立

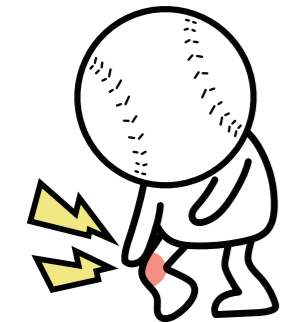


趣味や事業紹介、仕事のこだわりなど、自由なテーマで執筆いただいています。

自分や会社はなかったと思えます。多くの方々の支えのもと、少しずつ成長を重ねてこられたことにあらためて感謝しています。日々の業務では、予定通りに進まないことも少なくありません、しかしどんなトラブルがおきたとしても「起きてしまったことは仕方ない」と気持ちを切り替えて、次に進むように心がけています。そうすると不思議と気持ちが楽になり前に進むことができるように思います。

また、取引先や地域の方々からいただく「ありがとう」という言葉は、私にとって最高の励みであり、次への活力です。その期待に応えるために、これからも誠実に、そして全力で仕事に取り組んでいきたいと思えます。私のモットーは「仕事も遊びも全力で」。真剣に働くからこ

っていたのかを痛感しました。家では妻が送り迎えや家事を担い、会社では同僚が業務のフォローをしてくれ、多くの方々から励ましの言葉をいただきました。その温かさに触れ、一人



仕事をしているわけではない、という当たり前の事実を、あらためて深く実感しました。復帰した今、ケガの経験は私にとって大きな節目となりました。人に頼ることを恥じるのではなく、仲間を助けてもらえるありがたさを素直に受け取ること。そして、自分もまた誰かの力になれる存在でありたいということ。そんな思いを胸に、これから日々の暮らしや人との関わりを大切にしながら、前に進んでいきたいと思えます。



そ、休日の楽しみもひとときわ深く感じられます。遊びの中で新しい発想が生まれることもあり、そのひとつひとつが自分を育ててくれます。これからも、支えてくれた多くの人への感謝を胸に、仕事も遊びも全力で歩み続けていきたいと思えます。

- 報告事項 実沢芳史会員増強副委員長より、会員数の推移・2025増強目標・増強還元金・全国会勢の報告があった。
- 報告事項 樋口静克経営労働委員長より、第31期経営指針を創る会の進捗報告があった。
- 報告事項 小椋辰也副代表理事より、第34期同友会大学の進捗報告があった。
- 報告事項 井上緑也政策提言委員長より、全会員景況調査アンケートの進捗報告があった。
- 報告事項 鈴木隆将情報管理委員長より、e・doyu利用状況について報告があった。
- 報告事項 渋谷裕司社員共育委員長より、第21回共育塾第1講座の報告があった。
- 報告事項 佐藤智明常務理事事務局長より、11月からの事務局体制の報告があった。
- 依頼事項 丹野勇雄いわき支部長第49回全県企業家フォーラムの参加依頼があった。
- 出席者/齋藤記子、藤原賢一、佐戸川政実、渡辺啓治、香西良浩、鈴木信雅、小椋辰也、高崎文孝、芳賀浩、三津間謙一、酒井源喜、小幡広宣、増子国安、丹野勇雄、伊藤一三、渡部一、樋口静克、渋谷裕司、鈴木成保、井上緑也、佐藤光一、鈴木隆将、遠藤秀輔、鈴木恵、佐藤智明、実沢芳史、26名。



是非 e.doyu をご活用ください!

2025年11月～12月は企業変革支援プログラムVer.2の結果をe-doyu登録強化月間としています。

会員間の情報共有の場をインターネット上に設け、同友会活動を円滑に進める組織活動支援システムがe.doyu。皆さんが参加しているグループの案内が発信できる掲示板や意見交換を行う電子会議室、同友会のスケジュール、同友会の文書がある書庫、行事参加登録システムやアンケートなどがあります。各行事への出欠もスマホやパソコンのe.doyuから簡単に回答ができます。

会員間の円滑な相互連絡・確認のためにぜひご利用ください。

※ユーザーID・パスワードについては、ホームページトップからお問い合わせいただくか、お近くの同友会事務局までご連絡ください。

アクセスはこちらから!



企業変革支援プログラムVer.2

2025年11月～12月

e.doyu登録強化・普及月間

Ver.2の結果をe.doyuに登録するメリット

- 1 自社の経年変化をグラフで確認できる!
- 2 全国の会員と比較できる!
(業種別/従業員数別/創業年別で比較可能!)

登録方法

- ① e.doyu「企業変革支援PG Ver.2」へ
- ② 「自社データの登録」からデータ入力
- ③ 「2025年の目標として登録する」または「下書き保存する」を押す

常に改革が求められる時代。なりゆき任せの経営に陥り、企業変革支援プログラムVer.2は、「よい会社」づくりの強力なツールです。

- ・自社の特徴や強みを定量的・定性的に捉えることができる!
- ・自社の強みが明確になる!
- ・自他を社内外に伝えやすい!
- ・経営指針に基づいた経営実践を後押し!

日本では見えなかった本質的な問題を顕微鏡化し解決するために、ぜひご利用ください。また、社内で社員と共に取り組むと、即座の進捗がたくましく見えてきます。そこが経営課題から生まれ、本月間を毎年の自己点検の契機として活用して、企業変革につなげていきましょう。



同友会三つの目的

1. 会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくろう。
1. 相互に人格を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけよう。
1. 中小企業をとりまく経済環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させよう。

新|会|員|情|報|

- 1 会社名
- 2 役職
- 3 住所
- 4 電話番号
- 5 事業内容
- 6 紹介者

入会おめでとうございます!
皆様よろしくお願ひします

南会津支部
印南 春樹さん

- 1 印南板金
- 2 南会津郡只見町
- 3 小林字上前田381-5
- 4 0241-86-2546
- 5 建築板金塗装
- 6 星隆行さん

郡山支部
上村 和行さん

- 1 南上村食堂
- 2 代表取締役
- 3 郡山市駅前1-4-15
- 4 024-923-5722
- 5 中国料理店
- 6 深澤幸子さん
佐々木唯雅さん

郡山支部
武田 隆之さん

- 1 ㈱TMSサポート
- 2 代表取締役
- 3 郡山市富久山町
- 4 八山田字尾池北3-9
- 5 024-954-4426
- 6 建設機械の販売、修理
- 7 佐藤友計さん

郡山支部
太田 善雄さん

- 1 一般財団法人太田総合病院
- 2 代表理事
- 3 郡山市西ノ内2-6-18
- 4 024-925-0088
- 5 病院を中心とした保健・医療・福祉事業
- 6 藤原賢一さん

白河支部
鈴木 健之さん

- 1 鈴木運送㈱
- 2 代表取締役
- 3 東白川郡矢野町東道字釜本64-1
- 4 0247-46-3115
- 5 一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業
- 6 押田洋平さん

白河支部
深谷 俊光さん

- 1 ㈱丞商事
- 2 代表取締役
- 3 白河市萱根字長木原6-2
- 4 0248-57-4082
- 5 林業
- 6 押田洋平さん

白河支部
金澤 宏和さん

- 1 南新生製作所
- 2 代表取締役
- 3 東白川郡瑞穂町宿字熊ノ森下4
- 4 0247-43-1591
- 5 事務機器の内部パーツの二次加工
- 6 押田洋平さん

郡山支部【名義変更】
鈴木 邦一さん

- 1 ㈱栄栄館 ホテル華の湯
- 2 セールズ部長
- 3 郡山市熱海町熱海5丁目8-60番地
- 4 024-984-2135
- 5 温泉旅館業

郡山支部【名義変更】
伊藤 修久さん

- 1 NPO法人真善美
- 2 副理事長
- 3 郡山市緑町7-9
- 4 024-983-3977
- 5 障がいサービス、生活支援

郡山支部【名義変更】
駒田 康二さん

- 1 アサヒビール㈱ 東北支社 南東北支店
- 2 支店長
- 3 宮城県仙台市青葉区1番地4-6-1 仙台製生命タワービルディング14F
- 4 022-261-2219
- 5 酒類製造

白河支部【名義変更】
佐川 怜さん

- 1 佐川建設㈱
- 2 代表取締役
- 3 東白川郡矢野町大字中石井字上川原242
- 4 0247-46-3627
- 5 土木工事、舗装工事業

福島同友会会員数(11月末現在)	郡山	福島	あだたら	須賀川	会津	相双	白河	いわき	田村	喜多方	南会津
1,834名	455名	378名	50名	39名	229名	74名	155名	345名	59名	30名	20名

DOYU FUKUSHIMA

2025年12月号 vol.549

福島県中小企業家同友会

〒963-8005 郡山市清水台1丁目3-8 郡山商工会議所会館5F
 本部事務局 / TEL.024-934-3190 FAX.024-934-3089
 発行責任者/会長 齋藤 記子
 編集責任者/広報報道委員会委員長 佐藤 光一
 定価/200円
 HP:www.fdoyu.or.jp E-mail:f.doyu@fdoyu.or.jp
 e.doyu:https://fukushima.e-doyu.jp



行事の確認は e.doyuから!!



事務局通信

今年も師走を迎え、街にはクリスマスのイルミネーションが灯り、年末に向けて慌ただしさと温かさが入り混じる季節となりました。年越しや新年を迎える準備も始まり、家族や仲間と過ごす時間を大切にしたいものです。秋には山々が赤や黄色に色づき、美しい紅葉を楽しむことができました。夜空には冬の星座が輝き、澄んだ空気の中で星を眺めるのもおすすめです。12月にはクリスマスや冬至といった行事があり、心も体も温まる時間を過ごす機会が増えます。また、ここ数年でAIやChatGPTなどの技術が急速に進化し、文章や画像を瞬時に作り出せる時代となりました。日々の暮らしや働き方にも変化が生まれています。寒さが厳しくなる季節ですが、どうぞ健康に留意され、元気に年末を迎えられますようお祈りいたします。

(S.Y)